

EXILIM

液晶デジタルカメラ

EX-Z110

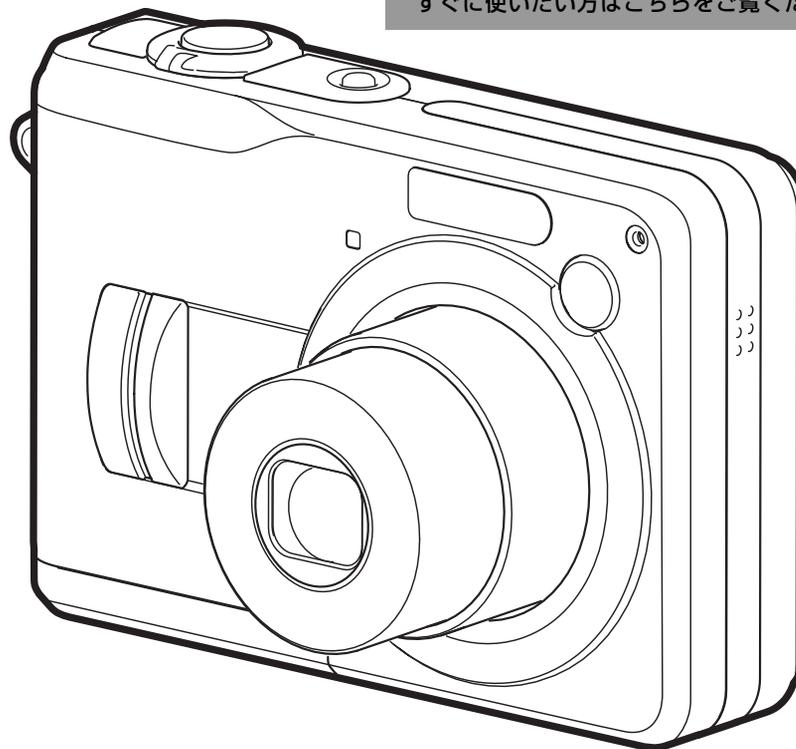
取扱説明書 (保証書付き)

ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (<http://dc.casio.jp/>) またはカシオホームページ (<http://www.casio.co.jp/>) でご覧になることができます。

K807FCM1PKC



早分かりガイド (14ページ)
すぐに使いたい方はこちらをご覧ください。

J Z

はじめに

準備する

撮影する(基本編)

撮影する(応用編)

再生する

消去する

ファイルの管理について

その他の設定について

メモリーカードを使用する

プリント(印刷)する

パソコンでファイルを見る

パソコンでファイルを活用する

付録

CASIO®

はじめに

付属品の確認

箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

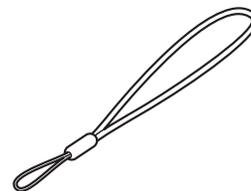
デジタルカメラ本体



アルカリ電池 (LR6)
(2本)



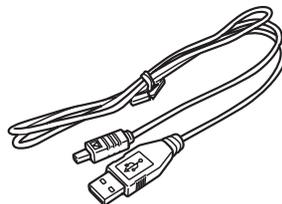
ストラップ



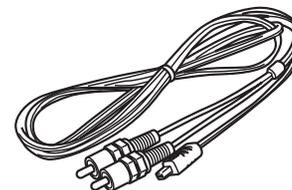
CD-ROM



USBケーブル



AVケーブル



取扱説明書



本書
(保証書付き)

目次

はじめに 2

- 付属品の確認 2
- あらかじめご承知いただきたいこと 9
- 本機の特徴 10
- 使用上のご注意 12

早分かりガイド 14

- 電池を入れる 14
- 画面メッセージの言語／日時を設定する 15
- 撮影する 16
- 撮影したファイルを見る(再生する) 17
- 撮影したファイルを消去する 17

準備する 18

- 本書の表記について 18
- 各部の名称 18
 - カメラ本体 18
- 液晶モニターの表示内容 21
 - RECモード時 21
 - PLAYモード時 24
 - 液晶モニターの表示内容を切り替える 25
- ストラップを取り付ける 26
- 電源について 27
 - 電池を入れる 27
 - 電池を交換する 30
 - 電池に関する使用上のご注意 30
 - 家庭用電源を使う 32
 - 電源を入れる／切る 34
 - 電池の消耗を抑えるための機能 35
- メニュー画面の操作について 36
- 表示言語／日時を設定する 38

撮影する（基本編） 40

- 基本的な撮影のしかた 40
 - 撮影モードを設定する 40
 - カメラの正しい構えかた 41
 - 撮影する(静止画撮影モード) 42
 - 手軽に撮影する(easy(簡単撮影)モード) 45
 - 撮影に関するご注意 46
- ファインダーを使って撮影する 48
- ズームを使って撮影する 48
 - 光学ズーム 48
 - デジタルズーム 49
- フラッシュを使って撮影する 51
 - フラッシュの状態について 52
 - フラッシュの光量を変える 53
 - フラッシュ撮影時の光量の不足を補う
(フラッシュアシスト機能) 53
- セルフタイマーを使って撮影する 55
- 画像サイズを変更する 56
- 画質を変更する 57

撮影する（応用編） 58

- ピント合わせの方法を変える 58
 - 自動でピントを合わせる(オートフォーカス) 59
 - 近くを撮影する(マクロ) 61
 - ピントを固定して撮影する(パンフォーカス) 61
 - 遠くを撮影する(無限遠) 62
 - 手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス) 62
 - フォーカスロック 63
- 露出を補正する(EVシフト) 64
- ホワイトバランスを変える 65
 - マニュアルホワイトバランスを設定する 66
- 露出の方法を変えて撮影する(露出モード) 67
 - 絞りを優先して撮影する(絞り優先AE) 67
 - シャッター速度を優先して撮影する
(シャッター速度優先AE) 68
 - 絞り値/シャッター速度を設定して撮影する
(マニュアル露出) 70
 - 露出モード撮影時のご注意 71
- 連続撮影する(連写モード) 71

■さまざまなシーンを選んで撮影する (ベストショットモード)	72
1つの画面に、1つのシーンのサンプル画像を 表示する	73
撮影したいシーンを登録する(カスタム登録)	74
登録したシーンを削除する	75
■手ブレや被写体ブレを軽減する	75
■感度を上げて撮影する(高感度撮影)	76
■名刺や書類などを撮影する (ビジネスショット機能)	77
ビジネスショット機能で撮影する	78
■動画を撮影する	79
動画の画質を設定する	79
動画を撮影する(ムービー)	80
■音声を記録する	81
画像に音声を加えて記録する (音声付き静止画撮影モード)	81
音声のみ記録する(ボイスレコード)	83
■ヒストグラムを活用する	84

■各種機能を設定する	86
左右キーに機能を割り当てる(キーカスタマイズ)	87
グリッドを表示する	88
撮影した画像を確認する(撮影レビュー)	88
各種設定を記憶させる(モードメモリ)	89
ISO感度を変える	90
測光方式を変える	91
色を変える(フィルター)	92
シャープネスを変える	92
彩度を変える	93
コントラストを変える	93
各種設定をリセットする	94

再生する 95

■基本的な再生のしかた	95
音声付き画像を再生する	96
■画像を拡大して表示する	96
■画像サイズを変える(リサイズ)	97
■画像の一部を切り抜く(トリミング)	98

■動画を再生／カットする	99
動画を再生する	99
動画をカットする(ムービーカット機能)	100
動画から静止画を作成する (モーションプリント機能)	102
■1つの画面に9つの画像を表示する	103
■カレンダー表示をする	104
■画像を自動的にページめくりさせる (スライドショー)	105
■回転表示させる	106
■画像に音声を追加する (アフターレコーディング機能)	107
音声を記録し直す	108
■音声を再生する	109
■テレビに画像を映し出す	110
ビデオ出力の方式を変更する	111

消去する 112

■1ファイルずつ消去する	112
■すべてのファイルを消去する	113

ファイルの管理について 114

■フォルダの分類について	114
メモリー内のフォルダ／ファイルについて	114
■記録したファイルにメモリープロテクト (消去防止)をかける	115
1ファイル単位でメモリープロテクトをかける	115
全ファイルにメモリープロテクトをかける	116
■お気に入りフォルダを使う	116
お気に入りフォルダにファイルを コピー(登録)する	116
お気に入りフォルダのファイルを表示する	117
お気に入りフォルダから1ファイルずつ消去する ..	118
お気に入りフォルダの全ファイルを消去する	119

その他の設定について 120

■カメラの音を設定する	120
4種類の音を設定する	120
操作音量を設定する	120
再生音量を設定する	121
■起動画面のオン／オフを切り替える	121

■ファイルの連番のカウント方法を切り替える	122
■日時を設定し直す	123
ホームタイムの都市を設定し直す	123
ホームタイムの日時を設定し直す	123
日付の表示スタイルを切り替える	124
■ワールドタイムを表示する	124
ワールドタイムを表示させる	124
ワールドタイムを設定する	125
■表示言語を切り替える	126
■USB端子の通信方法を切り替える	126
■【  】(REC)／【  】(PLAY)の動作を設定する	127
■内蔵メモリーをフォーマットする	128

メモリーカードを使用する 129

■メモリーカードを使う	130
メモリーカードを入れる	130
メモリーカードを交換する	131
メモリーカードをフォーマットする	131

■ファイルをコピーする	132
内蔵メモリーからメモリーカードに ファイルをコピーする	133
メモリーカードから内蔵メモリーに ファイルをコピーする	133

プリント（印刷）する 134

■プリント(印刷)するには	134
■DPOF機能について	135
1画像単位で印刷設定する	135
全画像に印刷設定する	136
■PictBridge／ USB DIRECT - PRINTについて	137
日付プリントについて	140
■PRINT Image MatchingⅢについて	141
■Exif Printについて	141

パソコンでファイルを見る 142

■お持ちのパソコンがWindowsの場合	142
■お持ちのパソコンがMacintoshの場合	148

■メモリーカードを直接接続して取り込む	151
■メモリー内のデータについて	152
DCF規格について	152
メモリー内のフォルダ構造	152
このデジタルカメラで扱える画像ファイル	154

パソコンでファイルを活用する 155

■お持ちのパソコンがWindowsの場合	155
付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラ アプリケーションソフトウェア)について	155
パソコンの動作環境について	157
パソコンに取り込んだ画像を管理する	158
静止画像のレタッチ／向きの変更／ 印刷設定をする	160
動画を再生する	161
取扱説明書(PDFファイル)を読む	161
ユーザー登録をする	162
終了	162
■お持ちのパソコンがMacintoshの場合	163
付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラ アプリケーションソフトウェア)について	163

パソコンの動作環境について	164
パソコンに取り込んだ画像を管理する	164
動画を再生する	165
取扱説明書(PDFファイル)を読む	166
ユーザー登録をする	166

付録 167

■メニュー一覧表	167
■ランプの状態と動作内容	169
■故障かな?と思ったら	171
現象と対処方法	171
USBドライバを正しくインストール できない場合は	176
画面に表示されるメッセージ	177
■主な仕様／別売品	179
主な仕様	179
別売品	183
■索引	184
■保証・アフターサービスについて	193
■保証規定	194
■お客様ご相談窓口	195

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 万一、Photo Loader、Photohands使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%未満の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

■著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像／動画フォーマットファイル、音声／音楽フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず権利者に無断でネット上で記載したり、第三者に配付したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

- SDロゴは登録商標です。
- Windows、Internet Explorer、Windows MediaおよびDirectXは米国マイクロソフト社の商標です。
- MacintoshおよびQuickTimeは米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AG社の商標であり、MMCA(MultiMediaCard Association)にライセンスされています。

はじめに

- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- Photo Loader、Photohandsはカシオ計算機(株)の著作物であり、上記を除き、これにかかわる著作物およびその他の権利はすべてカシオ計算機(株)に帰属します。

本機の特徴

- **ダイレクトONボタンを搭載(34ページ)**
撮りたいときは【】(REC)、見たいときは【】(PLAY)を押すだけですぐに希望のモードで起動できます。
- **モードダイヤルを搭載(40ページ)**
モードダイヤルを回して、8つの撮影モードから撮影したい被写体に合ったモードに設定することができます。
- **12倍ズームを搭載(48ページ)**
光学ズーム3倍／デジタルズーム4倍
- **トリプルセルフタイマーモードを搭載(55ページ)**
セルフタイマー撮影を自動的に3回繰り返すモードを搭載しています。
- **クイックシャッター機能を搭載(60ページ)**
シャッター半押しによるオートフォーカスが完了する前に、シャッターを全押しすると、オートフォーカスを作動せずに撮影することができます。オートフォーカスにかかる時間が削減できます。
- **オートフォーカスエリアの切り替え機能を搭載(60ページ)**
オートフォーカスのエリアを“ マルチ”に切り替えることにより、9つのポイントを同時に測距して、最適なピント位置をカメラが自動的に判断することができます。

- **3種類の露出モードを搭載(67、68、70ページ)**
撮影時の絞りとシャッター速度の決定方法として、絞り優先AE(Aモード)、シャッター速度優先AE(Sモード)、マニュアル露出(Mモード)の3種類の露出モードを搭載しました。
- **ベストショット機能を搭載(72ページ)**
煩わしい設定をカメラが自動的に行うので、簡単に綺麗な画像を撮ることができます。
- **ビジネスショット機能を搭載(77ページ)**
名刺や書類、ホワイトボードなどを斜めから撮影しても、正面から撮影したように自動的に補正します。
- **easy(簡単撮影)モードを搭載(45ページ)**
難しい設定を心配せず、手軽に撮影することができます。
- **音声付きムービー撮影機能を搭載(79ページ)**
VGAサイズ、30fps、AVI形式、Motion JPEG準拠
- **モーションプリント機能を搭載(102ページ)**
本機で撮影した動画から印刷に適した静止画を作ることができます。静止画のレイアウトは9コマと1コマの2種類です。
- **画像撮影後、続けて音声も録音可能な音声付き静止画撮影モードを搭載(81ページ)**
- **音声を録音することができるボイスレコード機能を搭載(83ページ)**
- **カレンダー表示が可能(104ページ)**
1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に記録した最初のファイルを表示させることができ、再生したいファイルを素早く探すことができます。
- **スライドショーを搭載(105ページ)**
撮影した内容を自動的に次々とページめくりさせることができます。
- **カメラとテレビをAVケーブルで接続するだけで、撮影した画像や撮影中の表示をご家庭のテレビで見ることができます(110ページ)。**
- **カメラの操作音設定が可能(120ページ)**
電源オン時の起動音、撮影時のシャッター音、シャッターボタン半押し時、キー操作時の操作音を、お好みに合わせて設定することができます。
- **ワールドタイム機能を搭載(124ページ)**
簡単に現地の時間にセットできます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。
- **拡張用メモリーカードとしてSDメモリーカードとMMC(マルチメディアカード)に対応(129ページ)**
- **DPOF(Digital Print Order Format)に対応(135ページ)**
同規格に準じたデジタルDPEサービスを簡単に利用することが可能です。

はじめに

- **PictBridge、USB DIRECT - PRINTに対応(137ページ)**
この規格に対応したプリンタに直接接続して、画像を印刷することができます。
- **PRINT Image MatchingⅢに対応(141ページ)**
PRINT Image MatchingⅢ対応プリンタでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。
- **カメラとパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、簡単にパソコンへ画像データを転送することができます(142、148ページ)。**
- **DCF(Design rule for Camera File system)に対応(152ページ)**
同規格に準じた他の機器との互換性があります。
- **Photo Loader、Photohandsを付属(158、160、164ページ)**
好評な自動取り込み機能を備えたPhoto Loaderを付属。レタッチ機能を備えたPhotohandsも付属。更に多彩に画像を活用できます。

使用上のご注意

■ 撮影前のご注意(ためし撮りをしてください)

必ず事前にためし撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

■ データエラーのご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。
 - － カメラの動作中に電池やメモリーカードを抜いた
 - － 電源を切ったときに緑の【動作確認用ランプ】が点滅している状態で電池やメモリーカードを抜いた
 - － 通信中にUSBケーブルがはずれた
 - － 消耗した電池を使用し続けた
 - ※ 消耗した電池を使用し続けると、カメラが故障する場合があります。すみやかに新しい電池に交換してください。
 - － その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります(177ページ)。画面に対応した処置をお願いいたします。

■ 使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所
 - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 日中の車内、振動の多い場所

■ 結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く(結露)ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に充分慣らしてから取り出して、電池カバーを開けたまま数時間放置してください。

■ 電源について

- 市販の充電式電池を使用される場合は、三洋電機(株)製のニッケル水素充電電池HR-3UA、HR-3UB、またはHR-3UFを推奨します。
- 本機には時計専用の電池は入っておりません。電池や別売のACアダプターで電源が供給されていないと、約2日間で日時がリセットされますので、その場合は再度設定してください(123ページ)。

■ レンズについて

- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズの特性(歪曲収差)により、撮影した画像の直線が歪む(曲がる)場合がありますが、故障ではありません。

■ カメラのお手入れについて

- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブロアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- フラッシュ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、フラッシュ面には触れないでください。フラッシュ面の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■ その他の注意

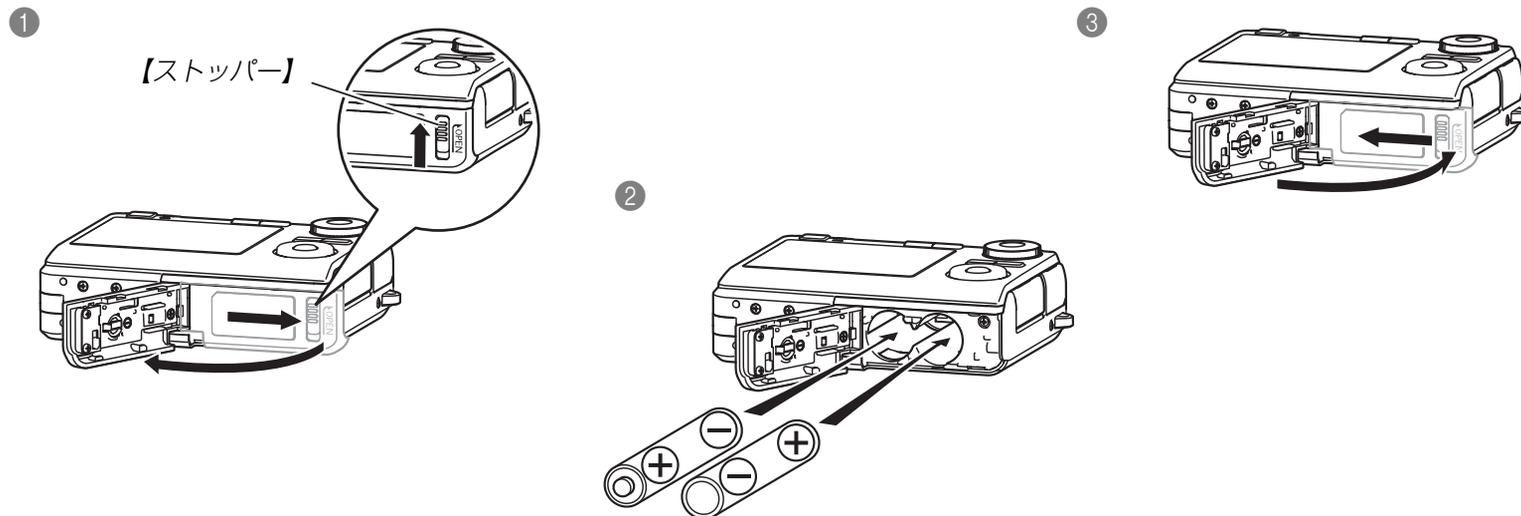
- 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。

早分かりガイド

電池を入れる

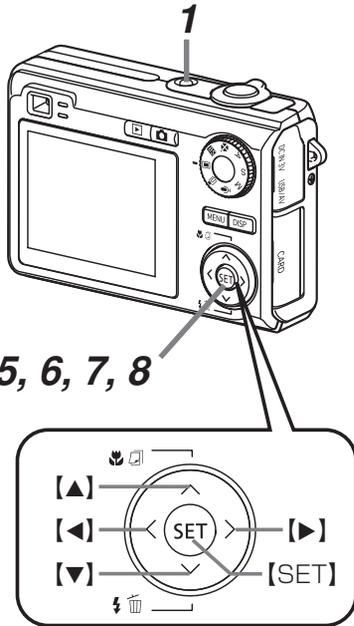
1. 付属の単3形電池を入れます(27ページ)。

- 市販の単3形ニッケル水素充電電池または単3形リチウム電池を使用することもできます。
- 使用する電池の種類に応じて設定を合わせてください(29ページ)。



画面メッセージの言語／日時を設定する

重要! • お買い上げ後、初めて撮影する前に設定してください(詳しくは38ページ参照)。

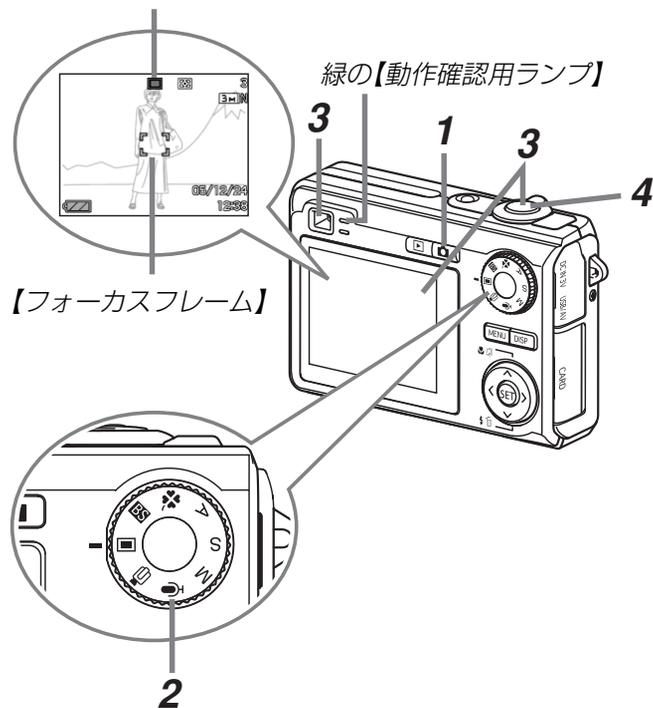


1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。
2. 【▲】を押して、言語(日本語)を選び、【SET】を押します。
3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自宅都市のエリアを選び、【SET】を押します。
4. 【▲】【▼】で自宅都市を選び、【SET】を押します。
 - 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。
5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押します。
 - 日本で使う場合は“切”を選んでください。
6. 【▲】【▼】で日時の表示スタイルの設定を選び、【SET】を押します。
7. 日付と時刻を合わせます。
8. 【SET】を押します。
 - 設定を終了します。

撮影する

(詳しくは40ページ参照)

静止画撮影モードのアイコン

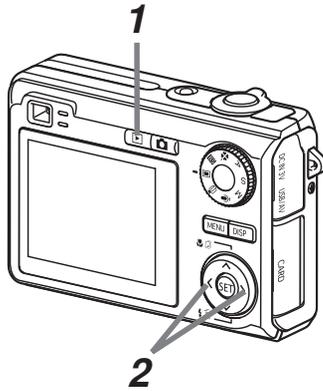


市販のメモリーカードを使用する場合は、カメラでフォーマットしたメモリーカードをご使用ください。メモリーカードのフォーマットは131ページを参照してください。

1. **【】(REC)を押します。**
 - RECモードになり、撮影できる状態になります。
2. **【モードダイヤル】を“”に合わせます。**
 - 【液晶モニター】に“” (静止画撮影モード)が表示されます。
3. **撮影する被写体にカメラを向け、【液晶モニター】または【ファインダー】を覗いて、【シャッター】を半押ししてピントを合わせます。**
 - ピントが合うと【フォーカスフレーム】が緑色になり、緑の【動作確認用ランプ】が点灯します。
4. **カメラを固定し、静かに【シャッター】を押します。**

撮影したファイルを見る(再生する)

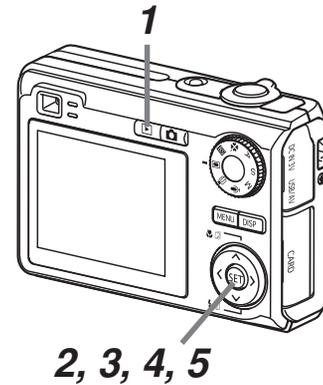
(詳しくは95ページ参照)



1. **[▶]**(PLAY)を押します。
 - PLAYモードになり、再生できる状態になります。
2. **[◀][▶]**を押すと、記録したファイルの戻し／送りができます。

撮影したファイルを消去する

(詳しくは112ページ参照)



1. **[▶]**(PLAY)を押します。
2. **[▼]**()を押します。
3. **[◀][▶]**を押して、消去したいファイルを選びます。
4. **[▲][▼]**を押して、“消去”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。
5. **[SET]**を押します。
 - ファイルが消去されます。

準備する

初めてご使用になる方は、撮影前の準備を行ってください。

本書の表記について

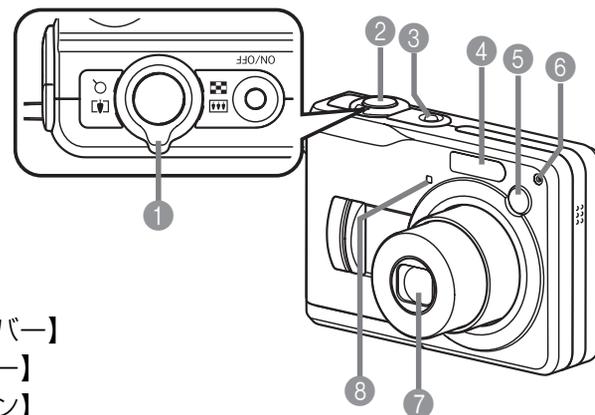
- 【 】に囲まれた単語は、本機のボタンや各部の名称です。
- “ ”に囲まれた単語は、本機の液晶画面に表示されるアイコンやメッセージです。
- **重要!** に記載された情報は、使用上、注意していただきたい重要な情報です。
- **参考** に記載された情報は、便利な使いかたや、参考になる情報です。

各部の名称

この取扱説明書では、本機の各部の名称を次のように【 】を使って表記します。

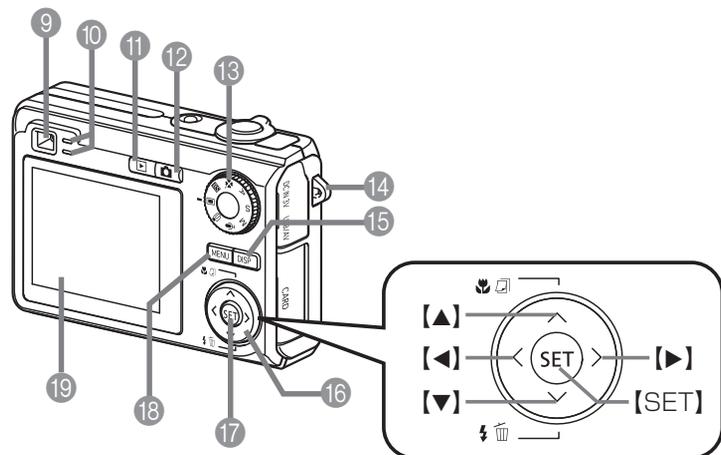
カメラ本体

■ 前面部



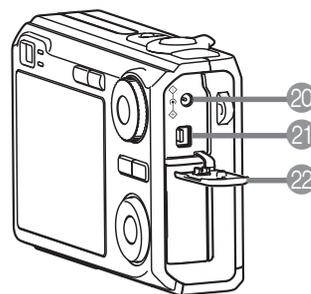
- ① 【ズームレバー】
- ② 【シャッター】
- ③ 【電源ボタン】
- ④ 【フラッシュ】
- ⑤ 【ファインダー】
- ⑥ 【マイク】
- ⑦ 【レンズ】
- ⑧ 【セルフタイマーランプ】

■ 後面部

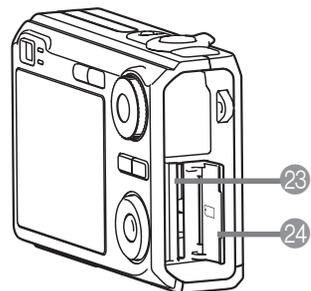


- 9 【ファインダー】
- 10 【動作確認用ランプ】
- 11 【▶】(PLAYモード)
- 12 【📷】(RECモード)
- 13 【モードダイヤル】
- 14 【ストラップリング】
- 15 【DISP】
- 16 【コントロールボタン】
※ 本書では、このボタンを
【▲】【▼】【◀】【▶】と表記しま
す。
- 17 【SET】
- 18 【MENU】
- 19 【液晶モニター】

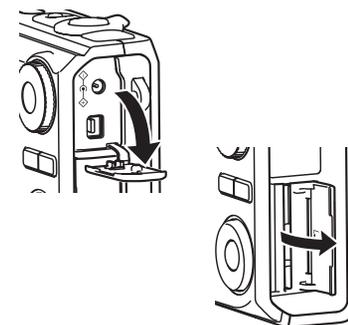
■ 側面部



- 20 【DC IN 3V】
(外部電源端子)
- 21 【USB/AV】
(USB/AV接続端子)
- 22 【端子カバー】



- 23 【メモリーカード挿入口】
- 24 【メモリーカードカバー】

端子カバー／メモリーカード
カバーの開きかた

準備する

■ 底面部

25 【電池室】

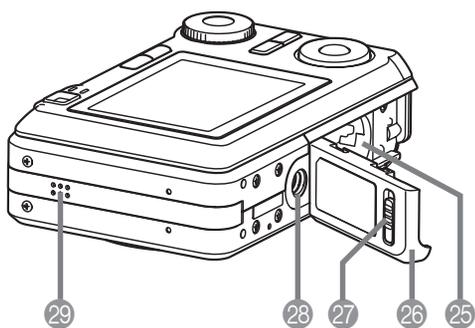
26 【電池カバー】

27 【ストッパー】

28 【三脚穴】

※ 三脚に取り付けるときに使用します。

29 【スピーカー】



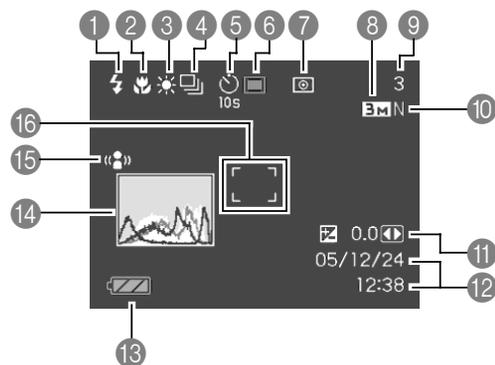
液晶モニターの表示内容

【液晶モニター】には、さまざまな情報が表示されます。

• この章の画面は、説明に必要な内容を表示させたものですので、実際の画面とは一致しません。あらかじめご了承ください。

RECモード時

■情報表示



① フラッシュモード表示 (51ページ)

- (フラッシュオート)
- (発光禁止)
- (強制発光)
- (赤目軽減)

- は、フラッシュオートに切り替えたとき、一時的に表示され、すぐに消えます。
- フラッシュオート時にフラッシュ発光する場合は、【シャッター】を半押ししたときに が表示されます。

② フォーカスモード (58ページ)

- (オートフォーカス)
- (マクロ)
- (パンフォーカス)
- (無限遠)
- (マニュアルフォーカス)

- は、オートフォーカスに切り替えたとき、一時的に表示され、すぐに消えます。

③ ホワイトバランス表示 (65ページ)

- (オート)
- (太陽光)
- (曇天)
- (日陰)
- (昼白色)
- (昼光色)
- (電球)

- は、オートに切り替えたとき、一時的に表示され、すぐに消えます(87ページのキーカスタマイズ機能使用時)。

④ 連写モード(71ページ)

- 表示なし (1枚撮影)
- (連写撮影)

⑤ セルフタイマー (55ページ)

表示なし (1枚撮影)

- (セルフタイマー10秒)
- (セルフタイマー2秒)
- (トリプルセルフタイマー)

⑥ 撮影モード(40ページ)

- (静止画撮影)
- (ベストショット)
- (easy(簡単撮影))
- (絞り優先AE)
- (シャッター速度優先AE)
- (マニュアル露出)
- (ムービー)
- (ボイスレコード)

準備する

7 測光方式表示(91ページ)

-  (マルチ測光)
-  (中央重点測光)
-  (スポット測光)

8 静止画：画像サイズ(56ページ)

- 9 静止画：撮影可能枚数(44、179ページ)
- 動画：残り撮影時間(80ページ)

10 静止画：画質(57ページ)

- F: Fine (高精細- F)
- N: Normal (標準- N)
- E: Economy (エコノミー- E)
- 動画：画質(79ページ)
 - HQ (高品位- HQ)
 - NORMAL (標準- Normal)
 - LP (長時間- LP)

11 露出補正表示(64ページ)

12 日付／時刻(123ページ)

13 バッテリー残量表示(28ページ)

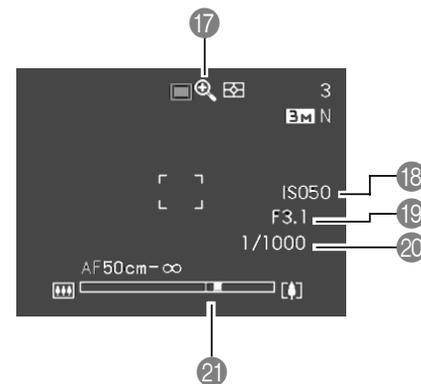
14 ヒストグラム(84ページ)

15 ブレ軽減表示(75ページ)

16 フォーカスフレーム

- ピント合わせ完了時：緑色に点灯
- ピント合わせ不可時：赤色に点灯

- 参考** 下記の機能を切り替えたとき、アイコンの意味(アイコンガイド)が表示されます。
- フラッシュモード、フォーカスモード、ホワイトバランス、セルフタイマー、撮影モード、露出補正



17 デジタルズーム表示(49ページ)

18 ISO 感度(90 ページ)

19 絞り値(23、44、68、70 ページ)

20 シャッター速度(23、44、69、70 ページ)

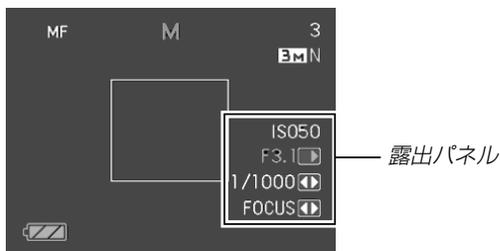
21 ズームバー(49ページ)

- 左部分が光学ズーム域
- 右部分がデジタルズーム域

- 参考** 絞り値、シャッター速度、ISO感度はAE(自動露出)が適正範囲でない場合、【シャッター】を半押ししたときにオレンジ色で表示されます。

■露出パネル

REC(撮影)モードでは、さまざまな調整項目が画面右下に表示されます(この部分を露出パネルと呼びます)。この表示から露出を調整することができます。

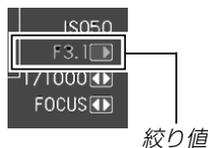


• RECモードにより、表示される項目は下記のように異なります。

① 絞り値(68、70ページ)

絞りを調整します。

- 【モードダイヤル】を“A”(絞り優先)、“M”(マニュアル露出)に合わせると、露出パネルに絞り値が表示されます。



② シャッター速度(69、70ページ)

シャッター速度を調整します。

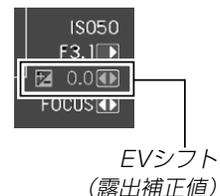
- 【モードダイヤル】を“S”(シャッター速度優先)、“M”(マニュアル露出)に合わせると、露出パネルにシャッター速度が表示されます。



③ EVシフト(露出補正值)(64ページ)

露出補正值を調整します。

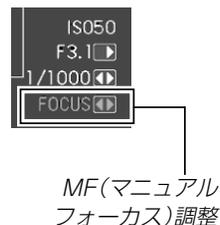
- 【モードダイヤル】を“A”(絞り優先)、“S”(シャッター速度優先)に合わせたとき、また他のモード(“M”(マニュアル露出)を除く)で“左右キー設定”が“EVシフト”のときに、露出パネルにEVシフトが表示されます(87ページ)。



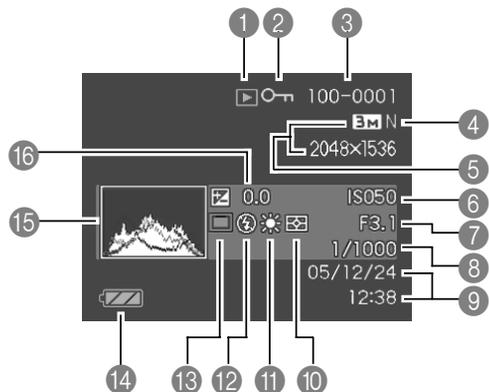
④ MF(マニュアルフォーカス)調整(62ページ)

マニュアルフォーカスの位置を調整します。

- 【▲】(👁) (🔍)を何回か押して【液晶モニター】に“MF”を表示させると、露出パネルにMF調整が表示されます。



PLAYモード時



① ファイル形態

- (静止画)
- (ムービー)
- (音声付静止画)
- (ボイスレコード)

② プロテクト表示
(115ページ)

③ フォルダ名／ファイル名
(114ページ)

例：メモリー内のフォルダ名
が100CASIO、
ファイル名が
CIMG0023.JPGの場合
100-0023
↑ ↑
フォルダ名 ファイル名

- ④ 静止画：画質(57ページ)
F: Fine (高精細- F)
N: Normal (標準- N)
E: Economy (エコノミー- E)
• 動画：撮影時間(80ページ)

- ⑤ 静止画：画像サイズ(56ページ)
• 動画：画質(79ページ)
HQ (高品位- HQ)
NORMAL (標準- Normal)
LP (長時間- LP)

⑥ ISO感度(90ページ)

⑦ 絞り値
(44、68、70ページ)

⑧ シャッター速度
(44、69、70ページ)

⑨ 日付／時刻(123ページ)

⑩ 測光方式表示(91ページ)

- (マルチ測光)
- (中央重点測光)
- (スポット測光)

⑪ ホワイトバランス表示
(65ページ)

- (オート)
- (太陽光)
- (曇天)
- (日陰)

- (昼白色)
- (昼光色)
- (電球)
- (マニュアル)

⑫ フラッシュモード表示
(51ページ)

- (発光)
- (非発光)
- (赤目軽減)

⑬ 撮影モード

- (静止画撮影、easy(簡単撮影))
- (ベストショット)
- (絞り優先AE)
- (シャッター速度優先AE)
- (マニュアル露出)

⑭ バッテリー残量表示
(28ページ)

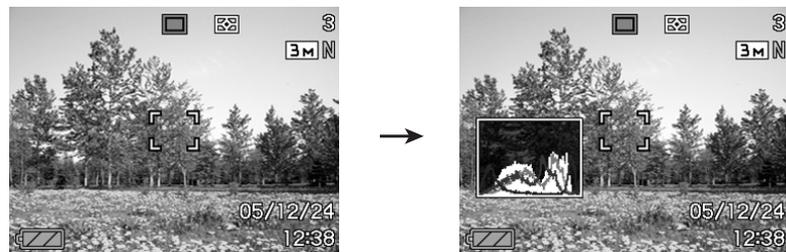
⑮ ヒストグラム(84ページ)

⑯ 露出補正表示(64ページ)

液晶モニターの表示内容を切り替える

【DISP】を使って、【液晶モニター】に表示される内容を切り替えることができます。

■ RECモード時



情報表示オン

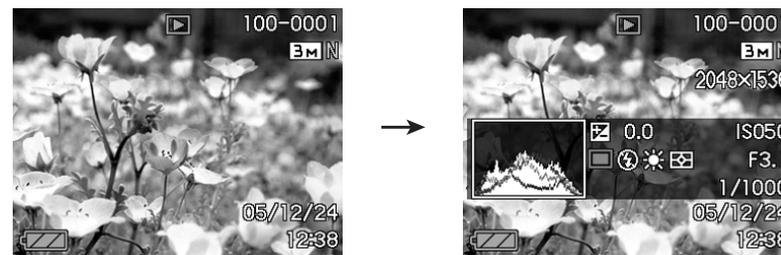
ヒストグラム
表示オン



液晶モニター
オフ

情報表示
オフ

■ PLAYモード時



情報表示オン

ヒストグラム/
詳細情報表示オン



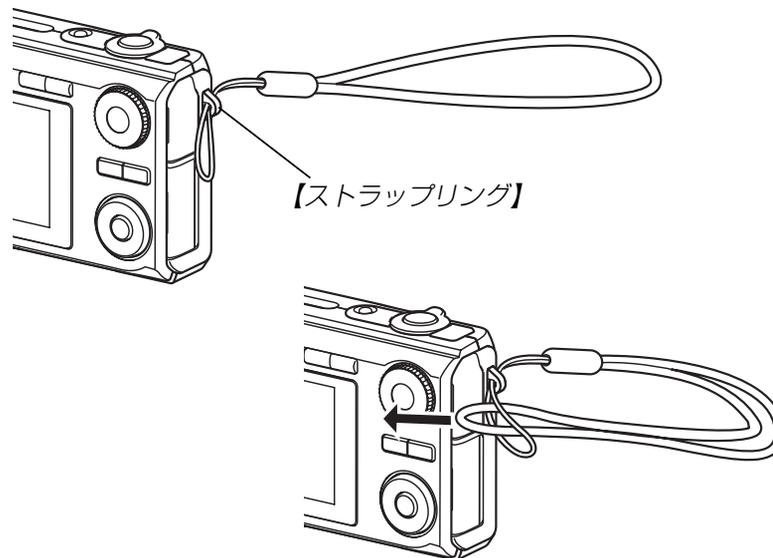
情報表示
オフ

準備する

- 重要!**
- 音声付き静止画の音声待機中／記録中は、【DISP】を使って【液晶モニター】の表示内容を切り替えることはできません。
 - RECモード時のボイスレコードでのみ、【DISP】を使って「液晶モニターオフ」ができます。他の撮影機能では、「液晶モニターオフ」はできません。
 - RECモード時のボイスレコードでは、「情報表示オン」と「液晶モニターオフ」の切り替えのみ、PLAYモード時のボイスレコードファイルの表示では「情報表示オン」と「情報表示オフ」の切り替えのみとなります。
 - 「情報表示オフ」でボイスレコードファイルを再生すると、2秒後に自動的に【液晶モニター】が非表示になります。再生が終了すると自動的に「情報表示オフ」の表示に戻ります。

ストラップを取り付ける

ストラップは、【ストラップリング】に取り付けます。



- 重要!**
- 本機操作時は落下を防止するため、必ずストラップに指を通した状態で使用してください。
 - 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
 - ストラップを持って本機を振り回さないでください。

電源について

本機は下記のいずれかの電源が利用できます。

電池

- 単3形アルカリ電池LR6：2本(付属品)

単3形アルカリ電池(LR6)使用時、5℃以下の温度ではカメラが動作しない場合があります。

- 単3形ニッケル水素充電電池HR-3UA(三洋電機(株)製、容量2100mAh/最低保証容量2000mAh):2本
- 単3形ニッケル水素充電電池HR-3UB(三洋電機(株)製、容量2300mAh/最低保証容量2150mAh):2本
- 単3形ニッケル水素充電電池HR-3UF(三洋電機(株)製、容量2500mAh/最低保証容量2300mAh):2本

充電式電池は、三洋電機(株)製のニッケル水素充電電池HR-3UA、HR-3UB、またはHR-3UFを推奨します。また、この充電電池を充電される場合は、HR-3UA、HR-3UB、またはHR-3UF指定の充電器をご使用ください。

- 単3形リチウム電池FR6：2本

※ 上記以外の電池を使用した場合、電池の特性上、動作性能保証ができないことがあります。

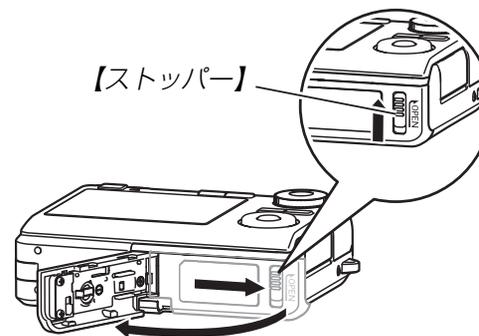
家庭用電源

- ACアダプター：AD-C30

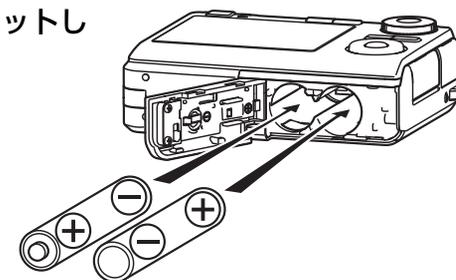
電池を入れる

電池交換の際は、電源を切った状態で行ってください。

1. 本体底面の【ストッパー】を矢印の方向へスライドし、【電池カバー】を矢印の方向にスライドさせて開きます。

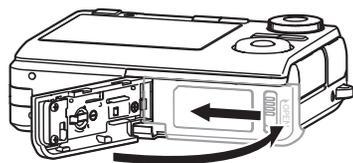


2. 電池を図のようにセットします。



準備する

3. 【電池カバー】を矢印の方向へ押しつけながら、スライドして閉めます。



- 重要!** • 電池は必ず単3形アルカリ電池(LR6)、単3形リチウム電池(FR6)、または27ページで指定の単3形ニッケル水素充電電池をご使用ください。

■ バッテリー残量表示

電池が消耗すると【液晶モニター】に表示されているバッテリー残量表示が下記表のように変化します。[]の状態は電池残量が少ないことを表しています。[]の状態では撮影できません。速やかに新しい電池に交換するか、すべての電池を充電し直してください。

電池残量	多 ←————→ 少
画面情報表示	[] → [] → [] → []
残量表示の色	みず色 → オレンジ色 → 赤色 → 赤色

※ バッテリー残量表示の変化のしかたは、電池の特性の違いにより異なりますのであらかじめご了承ください。

- 重要!** • 電池の使用時間と撮影可能枚数については、182ページをご覧ください。

■ 電池を長持ちさせるために

- フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュの発光方法を [] (発光禁止) に設定してご使用いただくと、電池寿命が長くなります(51ページ)。
- オートパワーオフ機能やスリープ機能(35ページ)を使用することにより、電源の切り忘れなどのむだな電力消費をおさえることができます。
- 【DISP】を押して【液晶モニター】をオフにすると、消費電力が小さくなります。

■ 使用する電池の種類を設定する

使用する電池の種類に応じてカメラを最適な状態で動作させることにより、電池の持ちを良くすることができます。

1. 電源を入れます。

2. 【MENU】を押します。

- メニューのたどりかたについては36ページを参照してください。

3. 【◀】【▶】で“設定”タブを選びます。

4. 【▲】【▼】で“電池設定”を選び、【▶】を押します。

5. 【▲】【▼】で使用する電池の種類を選び、【SET】を押します。

- アルカリ : 単3形アルカリ電池(LR6)を使用するときに設定します。
- ニッケル水素 : 単3形ニッケル水素充電電池(HR-3UA、HR-3UB、またはHR-3UF)を使用するときに設定します。
- リチウム : 単3形リチウム電池(FR6)を使用するときに設定します。

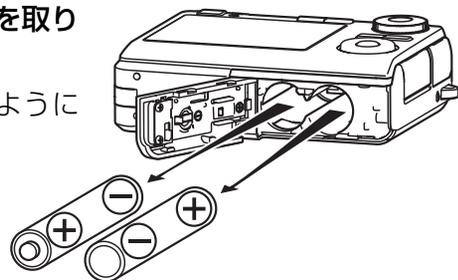
- 重要!** • 使用する電池の種類に応じて設定を合わせてください。適切でない場合、電池の特性上、レンズが収納されないまま電源がオフしたり、バッテリー残量表示が不正確になるなど、動作性能保証ができないことがあります。

電池を交換する

1. 【電池カバー】を開きます。

2. カメラを傾けて電池を取り出します。

- 電池を落とさないようにご注意ください。



3. 新しい電池を入れます(27ページ)。

電池に関する使用上のご注意

■ 電池使用時の注意事項

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災、けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - 極性(⊕と⊖の向き)に注意して正しく入れてください。
 - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
 - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
 - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- 電池は、分解、ショートする恐れのあることはいけません。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
- 使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。
 - 2週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
 - 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。



■ 電池特性による注意事項(アルカリ電池について)

アルカリ電池の持続時間は、メーカーや保存期間、使用温度、撮影条件により大きく異なります。通常ご使用になる場合、持続時間の長いニッケル水素充電電池のご使用をおすすめいたします。

- アルカリ電池使用時において断続的に使用した場合、電池寿命は短くなります。
- アルカリ電池使用時において低温下で使用した場合、電池寿命は短くなります。

例：低温(0℃)下で標準撮影枚数約50枚

松下電池工業(株)製のアルカリ電池LR6使用、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に2回)、10回撮影に1度電源を切/入操作。

※ 上記はあくまでも目安であり、保証枚数ではありません。アルカリ電池の特性や条件によっては、5℃以下の温度ではカメラが動作しない場合もあります。

- 5℃以下の温度ではカメラが動作しなかったり、最初から「電池容量が無くなりました」と表示される場合があります。なお、RECモードに比べてPLAYモード時の消費電流は小さいため、RECモードで電源が立ち上がらない場合でもPLAYモードでは電源が立ち上がる場合があります。

■ 充電式電池のご利用について

充電式電池は、三洋電機(株)製のニッケル水素充電電池HR-3UA、HR-3UB、またはHR-3UFを推奨します。

- 重要!**
- 電池は、必ず同じ製品を2本セットでご使用ください。違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせでご使用になると、電池寿命を短くしたり、カメラの故障の原因となります。
 - カメラでは充電できません。

■ 充電式電池の寿命が短くなった場合は

充電式電池を長期間使用しないときや、電池が残っている状態などで充電を繰り返したりすると、電池寿命が短くなる場合があります。そのような場合は、以下の操作を行うことによりリフレッシュ(放電)機能が働いて、電池寿命が改善される可能性があります。

- ① 充電式電池をカメラに入れます。
- ② 【MENU】を押しながら【電源ボタン】を押します。ファームウェアバージョンの点滅表示画面になります。
- ③ カメラの電源が切れるまで、そのままの状態でも放置します。
- リフレッシュ時間は電池の状態により変わりますが、長くても10時間程度です。
- ④ 自動的に電源が切れたら電池を取り出し、充電してください。

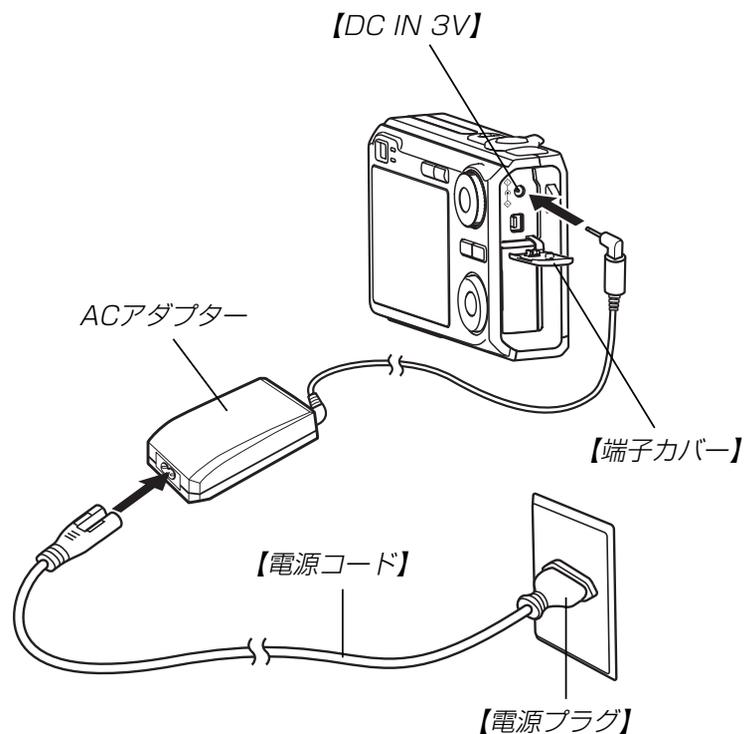
- 重要!**
- リフレッシュ機能の操作を行った充電電池は、電池容量がほとんど空になっています。この状態の電池を、充電せずにカメラに入れて電源を入れないようにご注意ください。充電しない状態でカメラの電源を入れると、カメラの電源が入る場合がありますが、電池容量が空に近いいため、レンズが出たまま電源が切れるなど、動作が不安定になりますので、ご注意ください。
 - この操作は、充電するたびにを行う必要はありません。電池寿命が短くなってきたと感じたときにお試しください。ただし、この操作を行っても電池寿命が改善されない場合があります。その場合は充電電池自体の寿命と考えられますので、新しい充電電池をご購入ください。
 - 上記内容は、三洋電機(株)製のニッケル水素充電電池HR-3UA、HR-3UB、またはHR-3UFを前提としております。

家庭用電源を使う

家庭用電源で本機を使うときには、別売のACアダプター(AD-C30)が必要です。

1. **【電源コード】**をACアダプターに接続します。
2. カメラの**【端子カバー】**を開き、**【DC IN 3V】**にACアダプターのプラグを接続します。

3. 【電源プラグ】をコンセントに接続します。



■ 海外でのご使用について

- ACアダプターはAC100V～240V・50/60Hzの電源に対応していますので、海外への旅行の際にもご利用できます。ただし、電源コードは125Vまでの対応ですので、旅行代理店などで、現地で使用可能かどうかを事前にご確認いただき、使用する国や地域に合ったプラグ形状の市販電源コードをお買い求めください。
- ACアダプターをご使用時に、電圧変換器はご使用にならないでください。

■ ACアダプター使用時のご注意

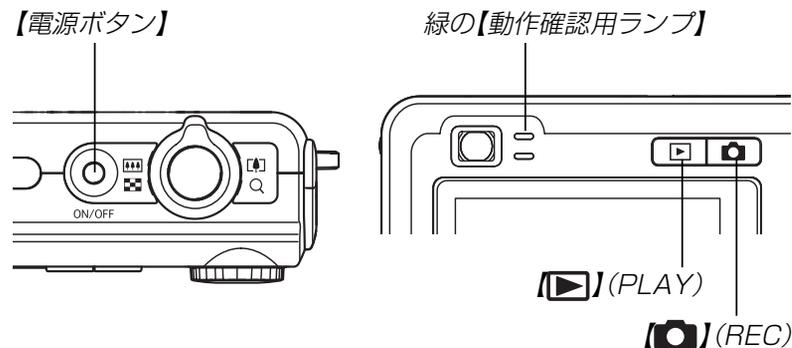
- ACアダプターを抜き差しする際は、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行うと製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となります。
- ACアダプターは長時間使用すると若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターのプラグを差し込むと、電池よりもACアダプターが優先されます。
- パソコンと接続する際は、ACアダプターをお使いください。
- ACアダプターの上に毛布などがかぶらないようにしてください。火災の原因となります。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

電源を入れる場合は、【電源ボタン】、【】(REC)または【】(PLAY)を押すと、緑の【動作確認用ランプ】が一時点灯し、電源が入ります。押すボタンによって電源が入った後の状態が異なります。

- REC(撮影)モードで電源を入れたいとき
：【電源ボタン】または【】(REC)を押す。
- PLAY(再生)モードで電源を入れたいとき
：【】(PLAY)を押す。



- 参考**
- 電源が入っているときに【】(REC)を押すとRECモードに、【】(PLAY)を押すとPLAYモードに切り替わります。
 - RECモードから【】(PLAY)を押してPLAYモードに切り替えると、約10秒後にレンズが収納されます。

- 重要!**
- オートパワーオフ機能により電源が切れた場合は、再度【電源ボタン】、【】(REC)または【】(PLAY)を押して電源を入れてください。
 - 【電源ボタン】または【】(REC)を押して電源を入れると、レンズが出てきます。その際にレンズを押さえたり、ぶつけないようご注意ください。

■ 電源を切る

電源を切る場合は、【電源ボタン】を押すと、電源が切れます。

- 参考**
- 【】(REC)や【】(PLAY)を押しても電源が入らないようにしたり、【】(REC)や【】(PLAY)を押して電源を切ることができるように設定することができます。詳しくは「【】(REC)／【】(PLAY)の動作を設定する」(127ページ)をご覧ください。

電池の消耗を抑えるための機能

電池の消耗を抑えるために、以下の2通りの設定ができます。

スリープ : RECモード時に一定時間操作をしないと、【液晶モニター】のみ消灯します。ボタン操作をすると【液晶モニター】が再度点灯します。

オートパワーオフ : 一定時間操作しないと電源が切れます。

1. 電源を入れます。
2. 【MENU】を押します。
3. 【◀】【▶】で“設定”タブを選びます。
4. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。
スリープの設定：“スリープ”
オートパワーオフの設定：“オートパワーオフ”
 - メニューのたどりかたについては36ページを参照してください。

5. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

スリープの設定内容：“30秒”“1分”“2分”“切”

オートパワーオフの設定内容：“2分”“5分”

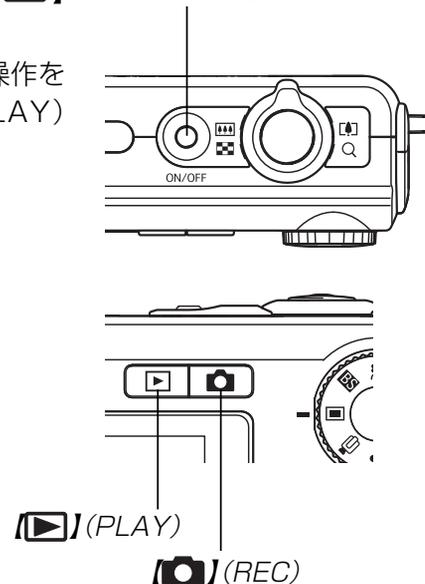
- PLAYモードではスリープは働きません。
- スリープ中にいずれかのボタンを押すと、スリープを解除してすぐに撮影できる状態になります。
- 以下の状態では、オートパワーオフ、スリープは働きません。
 - 本機をパソコンなどと接続しているとき
 - スライドショー中
 - ボイスレコードファイル再生中
 - 動画撮影中
 - 動画再生中

メニュー画面の操作について

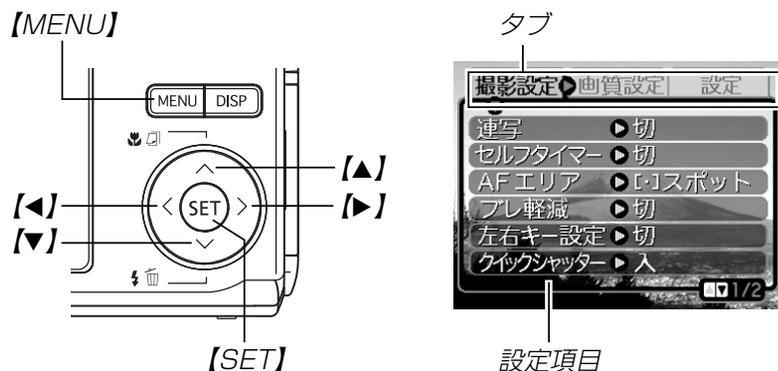
本機ではメニュー画面を使用してさまざまな操作を行います。この操作をまず覚えてください。【MENU】を押すと、メニュー画面が表示されます。メニューの内容はREC(撮影)モードとPLAY(再生)モードでは異なります。ここでは例としてRECモードでの代表的な操作を説明します。

1. 【電源ボタン】または【📷】【電源ボタン】(REC)を押します。

- PLAYモードにして操作を行うときは【▶】(PLAY)を押します。



2. 【MENU】を押します。



●メニュー画面で使うキーについて

【◀】【▶】	タブを選びます。【▶】は項目の決定にも使います。
【▲】【▼】	設定項目を選びます。
【SET】	選択した項目に決定します。
【MENU】	メニュー画面の操作を中断します。

3. 【◀】【▶】で設定したい項目のあるタブを選びます。

4. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。

- 【▶】を押す代わりに【SET】を押しても、次の画面に移ります。



例) 設定項目“連写”を選んだ場合

5. 【▲】【▼】で設定内容を選びます。

6. 選択した内容を決定します。

- 【SET】を押すと内容が決定され、メニュー画面から抜けます。
- 【◀】を押すと内容が決定され、メニュー画面に戻ります。続けて他の項目を設定することができます。
- 他のタブに移りたいときは、【◀】を押して、【▲】でタブに戻り、【◀】【▶】で他のタブに移ってください。

- 重要!**
- メニューの内容については「メニュー一覧表」(167ページ)を参照してください。
 - easy(簡単撮影)モード(45ページ)に設定すると、他のモードでのメニュー画面よりも大きな文字で、3つのメニュー項目のみが表示されます。また、吹き出しで簡単な説明も表示されます。

表示言語／日時を設定する

お買い上げ後初めて撮影をする前に、下記の設定を行ってください。

- 画面のメッセージの言語設定
- 自宅の都市の設定
- 表示スタイルの設定
- 日時設定(この日時は、印刷情報などに利用されます)

- 重要!**
- 日時を設定しないと、間違った時間で記録されてしまいますので、必ず設定してください。
 - 下記のような電源が供給されない状態で約2日間放置した場合は、日時がリセットされてしまいます。
 - － 電池が消耗している／電池を取り外している
 - － 別売のACアダプターを電源として使用時に、ACアダプターが接続されていない
 - 日時がリセットされているときに電源を入れると、日時設定画面が表示されます。その場合は、再度日時を設定してください。
 - 誤って設定してしまった場合は、表示言語／日時を設定し直すことができます。(123、126ページ)
 - 間違った時間で撮影をしてしまった画像の日時情報をカメラで修正することはできません。
 - 日時を設定しても、画像自体に日時を入れることはできません。ただし、プリント指定時に日付を付けて印刷することはできます(140ページ)。

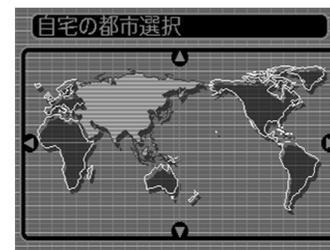
1. 【電源ボタン】、【】(REC)または【】(PLAY)を押して、電源を入れます。

2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で言語を選び、【SET】を押します。

日本語	: 日本語
English	: 英語
Français	: フランス語
Deutsch	: ドイツ語
Español	: スペイン語
Italiano	: イタリア語
Português	: ポルトガル語
中國語	: 中国語(繁体)
中国語	: 中国語(簡体)
한국어	: 韓国語



3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自分の住んでいる地域を選び、【SET】を押します。



4. 【▲】【▼】で自分の住んでいる都市を選び、【SET】を押します。

- 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。



5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押します。

入：サマータイムになります。

切：通常の時刻になります。

- 日本で使う場合は“切”を選んでください。

6. 【▲】【▼】で日付のスタイルを選び、【SET】を押します。

例) 2005年12月24日

年／月／日：05/12/24

日／月／年：24/12/05

月／日／年：12/24/05



7. 日付と時刻を合わせます。

【▲】【▼】を押す：

カーソル(選択枠)の部分の数字を変えます。

【◀】【▶】を押す：

カーソル(選択枠)を移動します。

【DISP】：

12時間表示と24時間表示の切り替えができます。



8. 【SET】を押して、設定を終了します。

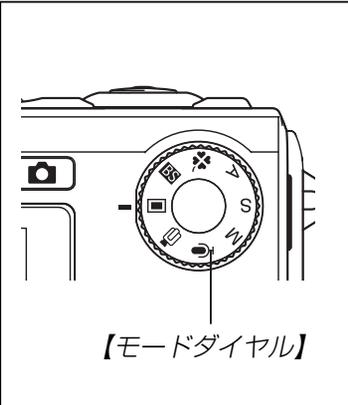
撮影する(基本編)

ここでは最も基本的な撮影方法について説明します。

基本的な撮影のしかた

撮影モードを設定する

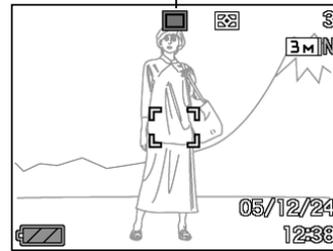
本機には8つの撮影モードがあります。撮影する前に【モードダイヤル】を回して、撮影したい被写体に合った撮影モードに設定してください。

		静止画撮影モード
		ベストショットモード
		easy(簡単撮影)モード
		絞り優先AEモード
		シャッター速度優先AEモード
		マニュアル露出モード
		ボイスレコードモード
		ムービーモード

-  (静止画撮影モード)
静止画を撮影するときに設定します。通常はこのモードに設定してお使いください。
-  (ベストショットモード)
簡単に綺麗な写真を撮りたいときに設定します。あらかじめ収録されているシーンの中から撮影したいシーンを選び、煩わしい設定をカメラにまかせることができます(72ページ)。
-  (easy(簡単撮影)モード)
難しい設定を心配せず、手軽に撮影することができます(45ページ)。
-  (絞り優先AEモード)
任意の絞りに固定して撮影することができます(68ページ)。
-  (シャッター速度優先AEモード)
任意のシャッター速度に固定して撮影することができます(69ページ)。
-  (マニュアル露出モード)
絞り値、シャッター速度を自由に設定して撮影することができます(70ページ)。
-  (ボイスレコードモード)
音声のみ録音するときに設定します(83ページ)。
-  (ムービーモード)
動画を撮影するときに設定します(80ページ)。

- 参考** •【モードダイヤル】を設定したい撮影モードに合わせて、【液晶モニター】に撮影モードを示すアイコン(“”など)が表示されます。

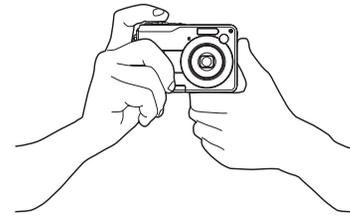
撮影モードを示すアイコン



カメラの正しい構えかた

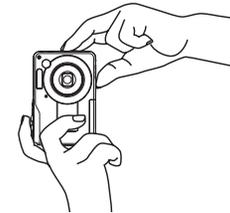
カメラは両手でしっかりと持って、撮影してください。片手で持つと、手ブレを起こす恐れがあります。

- 横に持つ場合



両手でカメラをしっかり持ち、脇をしっかり締めてください。

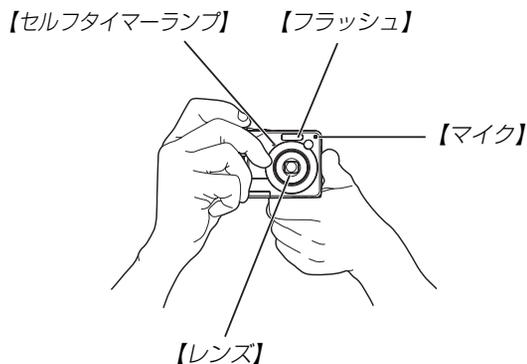
- 縦に持つ場合



縦に持つ場合は、【レンズ】より【フラッシュ】が上にくるようにして、カメラをしっかり持ってください。

撮影する(基本編)

- 重要!** • 指やストラップが、下記の部分にかからないように注意してください。



- 参考** • 【シャッター】を押し切った瞬間にカメラがぶれたり、オートフォーカス動作中(シャッター半押し時)にカメラがぶれると、きれいな画像が撮れません。正しく構えて、【シャッター】を静かに押し、【シャッター】を押し切った瞬間にカメラが動かないようにしてください。特に暗い場所で撮影するときは、シャッター速度が遅くなるので、注意してください。

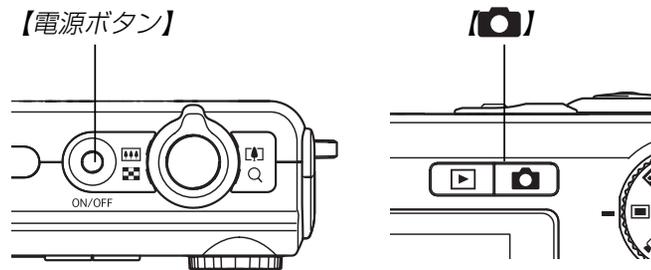
撮影する(静止画撮影モード)

本機では被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度を自動的に調整します。撮影された画像は、順次内蔵メモリーに保存されます。

- 市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはMMC<マルチメディアカード>)に保存することもできます(129ページ)。

市販のメモリーカードを使用する場合は、あらかじめメモリーカードを入れて、メモリーカードのフォーマットを行ってください(131ページ)。

1. 【電源ボタン】または【】(REC)を押して、電源を入れます。



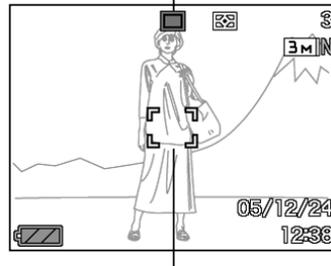
- 【液晶モニター】に画像が表示されます。
- RECモードになり、撮影できる状態になります。

- すでに電源が入っている状態で下記のようにPLAY(再生)モードになっている場合は、**【CAMERA】**を押してREC(撮影)モードに切り替えてください。
 - 「ファイルがありません」と表示されている。
 - **【▶】**が**【液晶モニター】**の上部に表示されている。

2. 【モードダイヤル】を**【M】**に合わせます。

- 静止画撮影モードに設定すると、**【液晶モニター】**に**【M】**が表示されます。
- 設定のしかたは、「撮影モードを設定する」(40ページ)をご覧ください。

静止画撮影モードアイコン



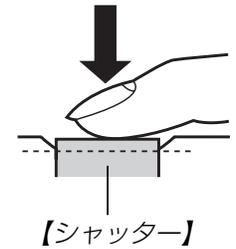
【フォーカスフレーム】

3. 【液晶モニター】に表示されている**【フォーカスフレーム】**を被写体に合わせます。

- 撮影できる距離は、フォーカスモードによって異なります(58ページ)。
- **【ファインダー】**から被写体を見て撮影することもできます(48ページ)。
- **【ファインダー】**から被写体を見るときは**【DISP】**を押して、**【液晶モニター】**を消すことで、電力の消費を減らすことができます。

4. 【シャッター】を半押しし、ピントを合わせます。

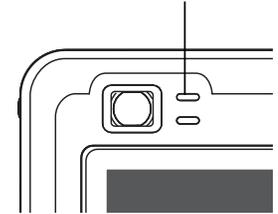
- **【シャッター】**を半押しすると、オートフォーカス機能により自動的にピントが合い、シャッター速度、絞り値、およびISO感度が表示されます。



【シャッター】

- ピントは**【フォーカスフレーム】**や緑の**【動作確認用ランプ】**の点灯のしかたで知ることができます。

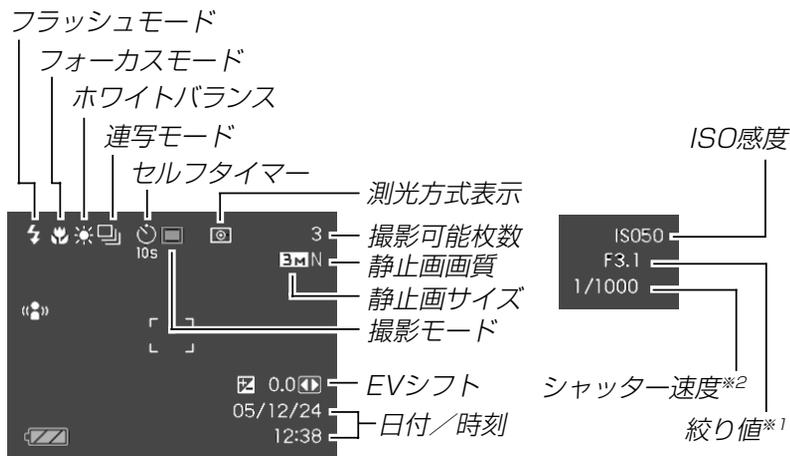
緑の**【動作確認用ランプ】**



状況	動作確認用ランプ	フォーカスフレーム
ピント合わせ完了	緑点灯	緑点灯
ピント合わせ不可	緑点滅	赤点灯

撮影する(基本編)

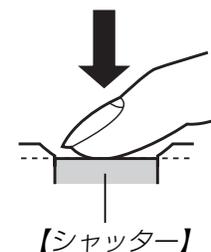
- 【液晶モニター】にはさまざまな情報が表示されます。



- ※1 レンズを通してCCDに当たる光の量を制限する機構(絞り)の開口部の大きさの値です。数値が大きくなるほど、光が通る開口部の大きさが狭くなります。本機では自動的に調整されます。
- ※2 レンズを通してCCDに当たる光の量を制限する機構(シャッター)の動作速度のことです。時間が長くなるほど光の量は増えます。本機では自動的に調整されます。

5. ピントが合っていることを確認して【シャッター】を全押しします。

- サイズ、画質によって撮影できる枚数が異なります(56、57、179ページ)。



- 重要!** • クイックシャッター(60ページ)を使用すると、【シャッター】半押しによるオートフォーカスが完了する前に、【シャッター】を全押しすると、オートフォーカスが作動せずに撮影されます。シャッターチャンスを逃さずに撮影することができます。

手軽に撮影する(easy(簡単撮影)モード)

easy(簡単撮影)モードに設定すると、難しい設定を心配せず、手軽に撮影することができます。初心者の方におすすめのモードです。

- RECモードにして、【モードダイヤル】を“”に合わせます。
 - easy(簡単撮影)モードに設定すると、【液晶モニター】に“”が表示されます。
- 【液晶モニター】に表示されている【フォーカスフレーム】を被写体に合わせます。
- 【シャッター】を半押しし、ピントを合わせます。
 - ピントが合うと【フォーカスフレーム】が緑色になり、緑の【動作確認用ランプ】が点灯します。
- ピントが合っていることを確認して【シャッター】を全押しします。
 - 画像が撮影されます。

■ easy(簡単撮影)モードのメニュー設定について

easy(簡単撮影)モードでは「フラッシュ」、「セルフタイマー」、「画像サイズ」の3つのメニュー項目のみが設定できます。それ以外のメニュー項目は、撮影に最適な状態に固定されます。

1. 【MENU】を押します。

- easyメニュー画面は、他のモードでのメニュー画面よりも大きな文字で表示されます。



2. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【SET】を押します。

- 吹き出しで簡単な設定内容の説明が表示されます。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

メニュー項目	設定内容
フラッシュ	 (フラッシュオート) /  (強制発光) /  (発光禁止)
セルフタイマー	 (10秒セルフタイマー) / 切
画像サイズ	<u>6M</u> / 3M / VGA

- 下線の引いてある項目は初期設定値です。

4. メニュー設定が終了したら、“メニュー終了”を選び、【SET】を押します。

- 各メニュー項目の設定内容については、次のページを参照してください。
「フラッシュを使って撮影する」(51ページ)
「セルフタイマーを使って撮影する」(55ページ)
「画像サイズを変更する」(56ページ)

撮影に関するご注意

■ 撮影時のご注意

- 緑の【動作確認用ランプ】が点滅している間に【電池カバー】を開けることは、絶対にお止めください。今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されたり、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。
- メモリーカードに記録中は、メモリーカードを抜かないでください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。
- ISO感度が“オート”の場合(90ページ)は、被写体の明るさに応じて感度が自動的に変化します。被写体が暗いと画像にノイズがのる場合があります。
- ISO感度が“オート”の場合(90ページ)は、被写体が暗いときに感度を上げてシャッタースピードを速くするようにしていますが、フラッシュの発光方法(51ページ)が  (発光禁止)のときには手ブレに注意してください。
- 不要な光がレンズに当たる場合は、手で遮光してから撮影してください。

■ オートフォーカスのご注意

- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことや正確でないことがあります。
 - － 階調のない壁などコントラストが少ない被写体
 - － 強い逆光のもとにある被写体
 - － 明るく光っている被写体
 - － ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - － カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - － 暗い場所にある被写体
 - － 動きの速い被写体
 - － 撮影範囲外の被写体
- 手ブレをしているとき、ピントが合わないことや正確でない場合があります。
- 緑の【動作確認用ランプ】が点灯していたり、【フォーカスフレーム】が緑で表示されていてもピントが正しく合わない場合があります。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロック(63ページ)やマニュアルフォーカス(62ページ)をご利用ください。

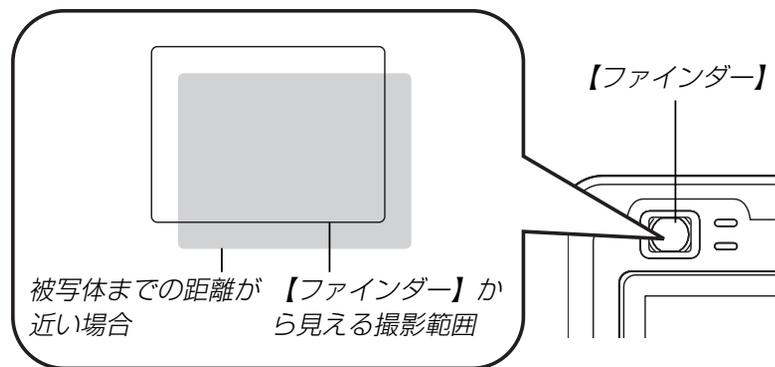
■ 撮影時の画面のご注意

- 撮影時、【液晶モニター】に表示される被写体の画像は、フレーム確認のための簡易画像です。撮影した内容は、選択した画質で記録されており、出力画素数は確保されています。メモリーには精細な画像で記録されています。
- 被写体の明るさにより、撮影時の【液晶モニター】の表示速度が遅くなったり、ノイズが出る場合があります。
- 極端に明るい被写体を撮影すると、【液晶モニター】上の画像に、縦に尾を引いたような光の帯が表示される場合があります(スミア現象といいます)。これはCCD特有の現象で、故障ではありません。なお、この帯は静止画には記録されませんが、動画(79ページ)にはそのまま記録されますので、ご注意ください。

ファインダーを使って撮影する

電池の消耗を抑えるために【液晶モニター】をオフ(25ページ)にし、【ファインダー】を使って撮影することができます。暗い場所での撮影など、【液晶モニター】が見づらいときに【ファインダー】を使うと便利です。

重要! • 【ファインダー】から見える撮影範囲は約1m以上離れた被写体を撮影した場合の範囲を表します。被写体の距離が近い場合、視差の関係で実際に写る範囲が異なります。



- マクロモードやマニュアルフォーカスモードでは、【液晶モニター】をファインダーとして使用してください。【液晶モニター】は視差の問題がないため、記録される画像が正しく表示されます。

ズームを使って撮影する

本機のズームには、光学ズームとデジタルズームの2種類があります。

光学ズーム

レンズの焦点距離を変えて撮影することができます。ズームの倍率は次の通りです。

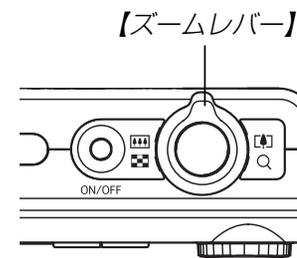
倍率：1～3倍

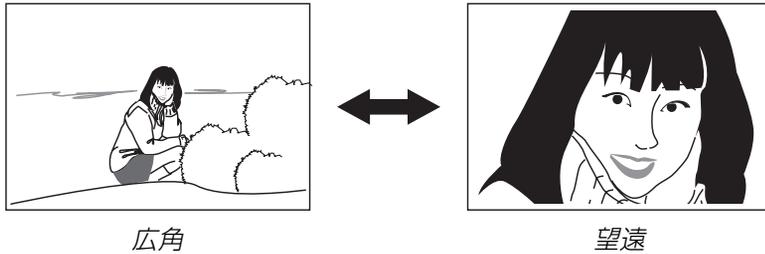
1. RECモードにします。

2. 【ズームレバー】をスライドさせて、ズームの倍率を変えます。

- ☰ (広角)：被写体を小さく写したり、広い範囲を写したりします。
- ☒ (望遠)：被写体を大きく写したり、狭い範囲を写したりします。

- 【ズームレバー】をいっぱいまでスライドさせると、より高速にズーム倍率を変えることができます。





3. 【シャッター】を押して撮影します。

- 参考**
- 光学ズームの倍率により、レンズの絞りの値も変わります。
 - 望遠で撮影するときは、手ブレ防止のため、三脚の使用をおすすめします。
 - オートフォーカス/マクロ(接写)/マニュアルフォーカス撮影時に光学ズームを行うと、画面上に撮影可能な距離の範囲が表示されます(59、61、63ページ)。
 - 動画撮影中は光学ズームは動作しません。デジタルズームのみ使用できます。【シャッター】を押す前であれば、光学ズームは使用できます(79ページ)。

デジタルズーム

光学ズームが最も望遠になった(3倍)状態から、さらに画面の中央を拡大して撮影することができます。デジタルズームを使ったときのズームの倍率は次の通りです。

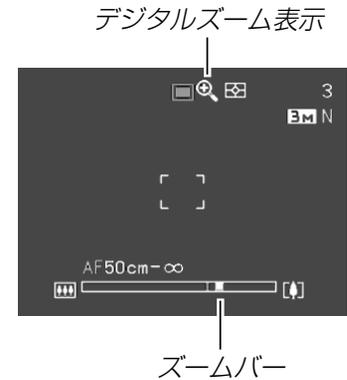
倍率：3～12倍(光学ズーム併用)

重要! • デジタルズームを使ってズーム撮影すると、画面の中央をデジタル処理で拡大するため、光学ズームと異なり画像是粗くなります。

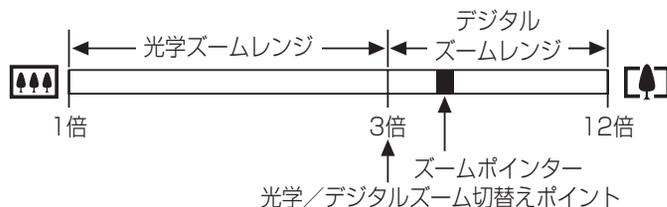
■デジタルズームを使って撮影する

1. RECモードにし、【ズームレバー】を[望遠]側にスライドさせて、ズームの倍率を変えます。

- 【ズームレバー】をスライドさせると、【液晶モニター】にズームバーが表示されます。この表示で現在のおおよその倍率が分かります。



2. 【ズームレバー】をスライドさせて、光学ズームが最も望遠になると(ズームポインターが光学／デジタルズーム切替えポイントにくると)、いったんズーム動作を停止します。



- ズームバーのデジタルズームレンジは、デジタルズームが“入”に設定されているときにのみ表示されます。
3. 【ズームレバー】を[▲] (望遠)側にスライドし直すと、ズームポインターがデジタルズームレンジに入り、デジタルズームに切り替わります。
 - 【ズームレバー】を[■] (広角)側にスライドさせると、ズームポインターが光学／デジタルズーム切替えポイントでいったん停止した後、光学ズームレンジに戻り、光学ズームに切り替わります。
 4. 【シャッター】を押して撮影します。

■デジタルズーム機能のオン／オフを切り替える

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. 【◀】【▶】で“撮影設定”タブを選びます。
3. 【▲】【▼】で“デジタルズーム”を選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で設定項目を選び、【SET】を押します。

入：デジタルズーム機能が働きます。

切：デジタルズーム機能は働きません。

- “切”を選ぶと、ズームバーには光学ズームレンジのみが表示されます。

フラッシュを使って撮影する

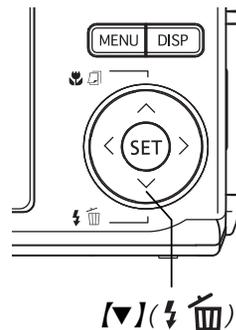
撮影条件に合わせてフラッシュの発光方法を切り替えることができます。

- フラッシュの撮影範囲は下記の通りです。
 広角時：約0.4m～約3.1m (ISO感度オート時)
 望遠時：約0.4m～約1.8m (ISO感度オート時)
 ※ 光学ズームにより、撮影範囲は変化します。

1. RECモードにします。

2. [▼]()を押して、フラッシュの発光方法を選びます。

- [▼]を押すたびに【液晶モニター】に次の順でフラッシュの発光方法が表示され、切り替わります。



[▼]()

フラッシュモード表示



(フラッシュオート)

：露出(光の量や明るさ)に合わせて自動的に発光します。

-  は、フラッシュオートに切り替えたとき、一時的に表示され、すぐに消えます。

(発光禁止)：露出に関係なく発光しません。

(強制発光)：露出に関係なく強制的に発光します。

(赤目軽減)：フラッシュ撮影時に人の目が赤く写ることを軽減します。露出に合わせて自動的に発光します。

3. [シャッター]を押して撮影します。

- 重要!**
- フラッシュ撮影時、フラッシュは数回発光します。最初にプリ発光(露出情報を得るための予備発光)し、最後にメイン発光(フラッシュ撮影するための発光)することにより、最適な発光量でフラッシュ撮影が行われます。メイン発光が終わるまで、カメラは動かさないでください。
 - ISO感度が“オート”の場合は、感度が高くなるため、フラッシュ使用時にノイズが多くなります。ISO感度を下げると撮影範囲(フラッシュの光が届く範囲)が短くなりますが、ノイズは少なくなります(90ページ)。

■ 強制発光について

日中の撮影で、逆光などで被写体が暗くなるような場合は、フラッシュの発光方法を⚡(強制発光)を選んで、フラッシュを発光させて撮影してください(日中シンクロ撮影)。フラッシュの光により、被写体を明るく撮影することができます。

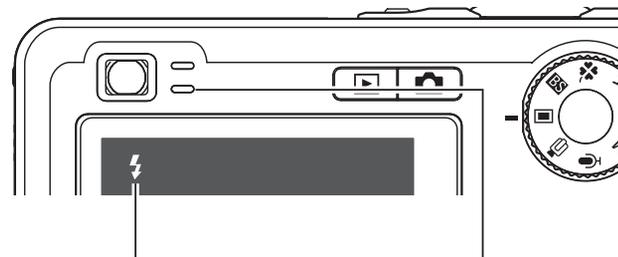
■ 赤目軽減機能について

夜や暗い室内などで人物をフラッシュ撮影したとき、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュ光が目の網膜に反射するために起こる現象です。赤目軽減機能を使うと、フラッシュ撮影する前に赤目用プリ発光(写す人の瞳孔を小さくするためにフラッシュが発光)することにより、人の目が赤く写ることを軽減します。

- 重要!** ● 赤目軽減機能により撮影する場合は、下記の点に注意してください。
- － 写される人がフラッシュを注視していないと効果がありません。撮影する前にフラッシュを見るように声をかけておいてください。
 - － 被写体までの距離が遠いと、効果が現れにくい場合があります。

フラッシュの状態について

フラッシュの状態については【シャッター】を半押ししたときに、【液晶モニター】や赤の【動作確認用ランプ】で確認できます。



【液晶モニター】

- フラッシュ発光時は
⚡が表示されます。

赤の【動作確認用ランプ】

- 赤点滅：フラッシュ充電中
- 赤点灯：フラッシュ充電完了

フラッシュの光量を変える

フラッシュの光量を変えることができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. 【◀】【▶】で“画質設定”タブを選びます。
3. 【▲】【▼】で“フラッシュ光量”を選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

+2：強く光る

+1

0

-1

-2：弱く光る



重要! • 被写体が遠かったり、近すぎたりする場合は、光量が変わらない場合があります。

フラッシュ撮影時の光量の不足を補う (フラッシュアシスト機能)

フラッシュの撮影範囲よりも遠い被写体を撮影したとき、撮影に必要なフラッシュ光量が得られずに、被写体が暗く写ってしまう場合があります。そのような場合、この機能を使うと、撮影した被写体の明るさを補正し、フラッシュの光がより遠くへ届いたときと似たような効果を得ることができます。



フラッシュアシスト機能
未使用



フラッシュアシスト機能
使用

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. 【◀】【▶】で“画質設定”タブを選びます。
3. 【▲】【▼】で“フラッシュアシスト”を選び、【▶】を押します。

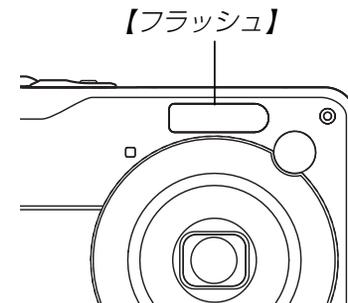
4. 【▲】【▼】で“オート”を選び、【SET】を押します。

- “切”を選ばないと、フラッシュアシスト機能は働きません。

- 重要!**
- 被写体によっては、思ったような効果が得られないことがあります。
 - 下記のような操作を行ったとき、フラッシュアシスト機能を使用した撮影結果にほとんど変化が表れない場合があります。
 - フラッシュ光量を切り替えたとき(53ページ)
 - 露出補正(EVシフト)を行ったとき(64ページ)
 - ISO感度を切り替えたとき(90ページ)
 - コントラストの設定を切り替えたとき(93ページ)
 - フラッシュアシスト機能動作時、ノイズが増える場合があります。

■ フラッシュ使用時のご注意

- 【フラッシュ】が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうとフラッシュ本来の効果が得られなくなります。
- 被写体までの距離が遠かったり、近かったりする場合は適切な効果が得られません。
- フラッシュの充電時間は、そのときの使用条件(電池の状態や温度等)により異なります。
数秒～10秒程度(フル充電の場合)
- 動画撮影時は、フラッシュは発光しません。
- 電池が消耗するとフラッシュの充電ができなくなることがあり、フラッシュが正常に発光せずに適正な露出が得られないことがあります。速やかに電池を充電してください。
- 暗い場所で撮影するときにフラッシュを🚫(発光禁止)に設定すると、シャッター速度が遅くなるので、手ブレを防ぐために、カメラを三脚などで固定するようにしてください。なお、このとき撮影した画像は多少ざらついた感じ(ノイズが発生した画像)になる場合があります。
- 🗙(赤目軽減)では露出に合わせて自動的に発光するため、明るい場所ではフラッシュは発光しません。
- フラッシュを使用した場合は、外光や蛍光灯など他の光源があると色味が変わることがあります。



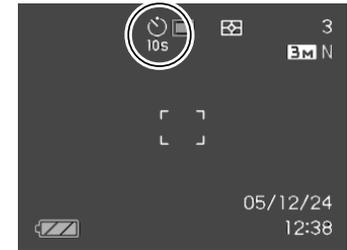
セルフタイマーを使って撮影する

【シャッター】を押してから約10秒または約2秒後に撮影することができます。また、3枚連続でセルフタイマー撮影する(トリプルセルフタイマー)こともできます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. 【◀】【▶】で“撮影設定”タブを選びます。
3. 【▲】【▼】で“セルフタイマー”を選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】でセルフタイマーの種類を選び、【SET】を押します。

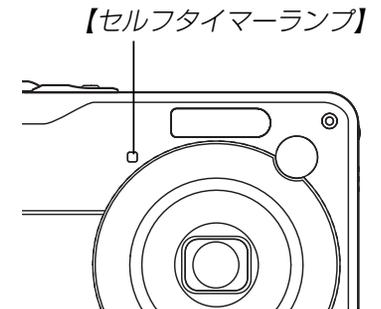
-  10秒 : 10秒後に撮影されます。
-  2秒 : 2秒後に撮影されます。
-  ×3 : 10秒後に1枚、その後撮影準備完了の1秒後に1枚、さらに撮影準備完了の1秒後に1枚と、合計3枚撮影されます(トリプルセルフタイマー)。
- 切 : セルフタイマーは使用できません。

- 【液晶モニター】にセルフタイマーの種類が表示されます。



5. 【シャッター】を押して撮影します。

- 【セルフタイマーランプ】が点滅し、約10秒、または2秒後に撮影されます。
- カウントダウン中に【シャッター】を押すと、セルフタイマーを解除することができます。



- 参考**
- シャッター速度が遅いときにセルフタイマーの2秒の設定を使用すると手ブレ防止になります。
 - トリプルセルフタイマーでは、次の撮影準備が終わると“1 sec”と表示され、約1秒後に撮影されます。撮影準備完了までの時間は、画像の“サイズ”や“画質”とメモリーカードの有無またはフラッシュの充電の有無によって異なります。
 - 下記の撮影では、トリプルセルフタイマーは使用できません。
ビジネスショット、動画撮影

画像サイズを変更する

画像サイズとは、カメラが記録する撮影画像の大きさを画素数(pixels)で表したものです。この画素数は1枚の画像を構成する粒子のきめ細かさを示している数値で、数字が大きいほど、印刷したときにきめが細かく美しい仕上がりになります。

- この設定は静止画の撮影時のみ有効です。動画のサイズについては、79ページをご覧ください。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. 【◀】【▶】で“画質設定”タブを選びます。
3. 【▲】【▼】で“サイズ”を選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
 - 画像サイズを選択している際に、画素数とプリントサイズを切り替えて表示します。プリントサイズは、選んだ画素数に対して、プリント時に最適な用紙のサイズを示しています。

画素数(pixels)		プリントサイズ	
大きい ↑ ↓	6M*	2816×2112	A3プリント
	6M (3:2)	2816×1872 (3:2)	A3プリント ※横縦比が3:2になります。
	4M	2304×1728	A4プリント
	3M	2048×1536	A4プリント
	2M	1600×1200	L判プリント
小さい	VGA	640×480	Eメール ※Eメールで画像を送りたい場合に最適です。

※ Mはメガ(100万)の意味です。

- 「プリントサイズ」は、あくまでも参考のサイズとお考えください(印刷解像度が200dpiの場合)。
- 本機の持つ画質を最大限に活かすために、できるだけ最大画素数(6M)で撮影することをおすすめします。なお、残り撮影枚数が少ないときや、より多くの枚数の画像を撮影したい場合は、画素数を小さく設定してください。
- “2816×1872(3:2)”を選ぶと、写真用のプリント用紙の横縦比3:2に合うように、画像を3:2の比率で撮影します。

画質を変更する

画質とは、画像を記録する際のデータ圧縮率を表したものです。用途に合わせて画質を変更してください。

- この設定は静止画の撮影時のみ有効です。動画の画質については、79ページをご覧ください。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. 【◀】【▶】で“画質設定”タブを選びます。
3. 【▲】【▼】で“ 画質”を選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

設定内容		選択時の目安
高画質 ↑ ↓ 低画質	高精細-F	画質を優先したいとき
	標準-N	通常の撮影をするとき
	エコミー-E	撮影枚数を優先したいとき

重要! • 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため、実際の撮影可能枚数と画面上の表示枚数が一致しない場合があります(22、179ページ)。